

写真は第1会場：北海道ルスツリゾート



57期 公認スキーパトロール検定会



写真は第2会場：山形県赤倉温泉スキー場

第75号の記事

- 57期 公認スキーパトロール検定会
- SAJ総会・パトロール研修会（東日本会場）
- 我等の仲間「北海道ルスツリゾート」
- パトロール研修会（西日本会場）
- 第47回JSPA総会案内
- 事務局よりお知らせ



公認スキーパトロール検定会

57期公認スキーパトロール検定会は2018年2月16日(金)～2月18日(日)の3日間に行われ、第1会場：北海道・ルスツリゾートスキー場、第2会場：山形県・赤倉温泉スキー場で開催されました。

17日の雪上実技テストでは全国的に天気が悪く、第1会場では午前と午後の天気が全く違い、午後には猛吹雪となりました。第2会場では朝から猛吹雪で午後の雪上実技テストが終わるとリフトが止まるという状況でした。悪天候の中、受検生・検定員の頑張りとしスキー場の御協力により検定は無事終了しました。

50名が受検し、新たに45名の公認スキーパトロールが誕生し、28名の方がJSPAに入会されました。先輩JSPA会員の御指導、御鞭撻を宜しくお願い致します。



57期公認スキーパトロール合格者名簿（○は会員を表します。敬称略）

入会	所属	氏名	入会	所属	氏名	入会	所属	氏名
○	北海道	鴨田 祥宏	○	青森県	成田 武仁		栃木県	横田 将人
○	北海道	佐々木 俊郎	○	岩手県	所 博幸		群馬県	森下 育郎
○	北海道	四條 佳理	○	岩手県	高橋 幸司	○	群馬県	高橋 治展
	北海道	須甲 光希		岩手県	富田 幸紀	○	東京都	久保 恵悦
○	北海道	田中 勝也		宮城県	石塚 光		東京都	二瓶 治彦
○	北海道	椿 浩幸	○	秋田県	小松 泉		新潟県	桃原 真司
	北海道	平塚 真一郎	○	秋田県	小松 信幸		長野県	内野 正春
	北海道	藤原 尚雄	○	秋田県	堀井 彰彦	○	長野県	井出 望月
	北海道	八木 徹		山形県	斎藤 弘美	○	山梨県	石倉 稔
	北海道	保本 聡子		山形県	高橋 伸彰	○	大阪府	川西 嘉代
	北海道	山田 圭一	○	山形県	二戸 寛朗	○	兵庫県	三方 信哉
	北海道	吉原 祥太	○	山形県	小松 寛之	○	兵庫県	森本 俊介
	北海道	米村 寛己	○	山形県	井上 孝夫	○	鳥取県	加藤 僚
○	青森県	玉熊 訓	○	福島県	江川 秀幸	○	岡山県	湯浅 真
○	青森県	福島 慎一	○	栃木県	青柳 春香	○	広島県	津田 秀行

JSPA ホームページ (<http://jspa-net.jp/>) では第1会場、第2会場の検定会の様子を写真で見ることができます。

公認スキーパトロール 57 期 JSPA 入会者 (合格時)

第 1 会場 北海道ルスツリゾートスキー場



3



4



5



6



8



9



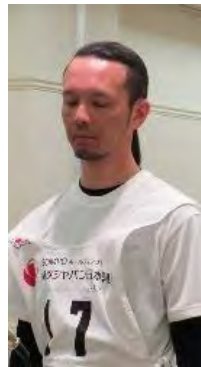
11



12



13



17



18



22

第 2 会場
山形県赤倉温泉スキー場
(写真下の数字はビブ No)



2



3



6



9



11



18



19



20



21



22



23



24



25



27



28



29

スキーパトロール合格記

スキーパトロール合格 までの体験記



北海道稚内スキー連盟 四條 佳理

私の住む中頓別町（なかとんべつちょう）のスキー場は小さいながらも斜度も雪質も名前も素敵なのです。それを活かそうと二年前にスキー少年団が創設され、私はそこで少年団や検定会で指導をしながらパトロール員としても、お手伝いをしていました。そんな中、公認パトロールの跡継ぎを探していると聞き、考えた末に私は公認パトロール検定を受けることを決意しました。スキー少年団ができ、今までよりも怪我人が出る可能性が増え、そうなった時に迅速に正確に救護活動ができるように…そう思ったからです。

ここからパトロール検定合格への、なかなか厳しい日々が始まりました。なにせアキヤをひいたのは今までに練習で二度だけ。

養成講習が始まってもしばらくはアキヤを暴走させ、仮傷病者を落とし、自信も無くし、ただ筋肉痛だけが残りました。それでも休みの間は毎日、制動横滑りの練習をしました。アキヤは使用できないので、自分の子供にストックを連結させたものを持たせ、急斜面で直滑降をしてもらい、私はひたすら制動横滑り。後半は、さらにもう一人連結。地元のパトロールの先生に指導してもらいながら、段々と切り替えをしてもブレなくなってきました。

まだこの時点でも、ロープ操法と三角巾も苦手で、おそらく養成講習中、技術員の先生

方には心配をかけていたのではないかと思います。お世話になりました。

途中くじけそうになりましたが、一緒に受ける受検生と励まし合いながら、そしてそれがいつのまにか仲間になりました。

パトロールの練習は一人ではできなくて、斜面を譲ってくれて、通り過ぎるまで待っていて、アキヤをモービルで運んでくれて、そして温かい声をかけてくれて。地元の方達にも、本当にお世話になり感謝しかありません。

これから身に付けた技術と知識で恩返しをしていきたいと思っています。



写真で見る検定風景 第1会場

浅まわり搬送



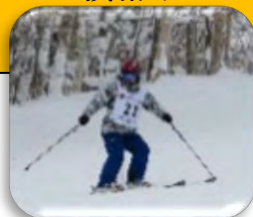
大まわり搬送



真下搬送



横滑り



片開きプルーク



フリー滑降



ロープ操法



救急法



スキーパトロール合格記

公認スキーパトロール になって

栃木県スキー連盟
青柳 春香



大雪の中、行われた検定会でした。特に2日目のスキー実技試験の日はリフトが運休になるほどの吹雪、緊張に加えて寒さでいつもの滑りができなかつた受検者も多かつたのではないのでしょうか。役員の方々はスキー靴で立ちっぱなしという、さらに過酷な状況でした。大変お疲れ様でした。

今年はピョンチャンオリンピック・パラリンピックの年でした。フィギュアスケート羽生選手の2連覇、スキーとスノーボードの両方で金メダルという偉業を成し遂げたレデツカ選手、さらにはアルペンスキー座位5種目全てでメダルを獲得した村岡選手などなど、高いパフォーマンスを発揮し多くの感動と興奮を与えてくれましたね。

そんな中、スノーボードハーフパイプで戸塚選手がリップに激突し、ボート搬送されました。スキー場パトロールに携わる方たちは皆同じだと思うのですが、戸塚選手の容体を心配するとともに医療班の動きに注目、検定会2日前だった事もあり特にボート搬送は注視してしまいました。

さて私自身ですが、昨年まではリフトスタッフとして10年以上、スキー場で働いてきました。去年の2～3月に来年からパトロールスタッフという事になり、ロープワーク、三角巾、ボート搬送を教えてくださいました。他所のスキー場に遊びに行った際、保護マットやネット・ロープによる規制などに目が行き、ほんの少し立場が変わっただけでこんな

にも意識や見え方が変わるのだなと思えました。

この度の検定会の前と後とでも仕事に対しての意識の変化がありました。パトロールの業務内容は何も変わってないのですが、責任が重くなったような感じです。逆に言えばそれまでは甘えがあったのかもしれませんが。

来シーズン以降も、けが人の出ないスキー場を目指し、そしてお客さんに安心を与えられるようなパトロールになれるよう、修練を積みたいと思います。

最後に、役員の皆様、スキー場と旅館の皆様、受検生の皆様、ありがとうございました。研修会でお会いできるのを楽しみにしております。



写真で見る検定風景 第2会場

真下搬送



真下搬送



片開きプルーク



フリー滑降



フリー滑降



ロープ操法



救急法



全国スキーパトロール総会・研修会(東日本会場)

2018 スキーパトロール総会・公認スキーパトロール研修会(東日本会場)は、2018年3月17日(土)~3月18日(日)、昨年度に引き続き福島県・ヴィライナワシロ・猪苗代スキー場を会場に、総会(各加盟団体の委員長やその代理)26名、研修会54名、SAJ役員18名、JAN講師2名、ファーストレスポonder講師(医師1名、JPTECトレーナー17名、患者役7名)25名、福島県スキー連盟来賓5名、オンヨネ株式会社1名、来賓2名、総勢133名が参加して盛大に開催された。主な日程と活動内容を紹介する。

第1日目(3月17日(土))

受付 08:00~09:00



実技研修1(雪上) 09:00~12:00

今年度初の試みとして志向別に、1. ツアースキー班、2. アキヤボート搬送技術班、3. 基礎スキー技術班を構成し、班ごとに密度の濃い研修を行った。

ツアースキー班(五色沼)



アキヤボート班(猪苗代スキー場)



実技研修2(1F 磐梯) 13:00~15:30

JPTEC ファーストレスポonderコースを地元の医師やJPTECトレーナー(救急隊員)の協力で開催し、受講者全員が質の高い応急処置の実際について学ぶことができた。



全国安全対策委員長会議 13:00~15:00

SAJ役員5名、各加盟団体の委員長やその代理(敬称略)

青森県	竹原伸郎
岩手県	高畑伸也
宮城県	鈴木寛、三神良太
秋田県	畑山卓二、和田栄一
山形県	蜂谷靖、奥山靖春
福島県	安田耕寿
栃木県	三森友洋
群馬県	森山直温
埼玉県	杉田宏恵
東京都	織田久
神奈川県	佐藤公一、三宅秀一
富山県	原野浩司
石川県	平野正樹、吉本幸司
福井県	扇浦行弘
長野県	新村昌宏
岐阜県	内方陽一、谷口隆志、中島浩二 三輪稔
滋賀県	井上修三
大阪府	今井津司

26名が、一堂に会し、各種報告、討論を行った。

SAJ 報告 3 件、

- (1) 第 21 回 FIPS 総会について
- (2) 2018 年度安全対策部事業報告
- (3) スキーパトロール研修テーマについて



理論研修 1 (1F 磐梯) 16:00~18:00

理論研修 1 は、出川あずさ氏 (日本雪崩ネットワーク (JAN) 理事・JMGA ガイド養成指導者) を講師として、「雪崩現象とリスク管理」「雪崩事故の実態と事例」に関する講演を聴講し雪崩の基礎知識について理解を深めることができた。



さらに、中澤卓氏 (草津国際スキー場パトロール隊長) より、草津白根山噴火の際の救助活動について報告があり、緊迫した災害現場の状況とパトロール隊の救助活動の実際について報告があった。



開会式 (1F 磐梯) 19:00~19:30



情報交換会 (1F 磐梯) 19:30~21:00

全国各地で活動するパトロール同士の親睦と情報交換を行った。



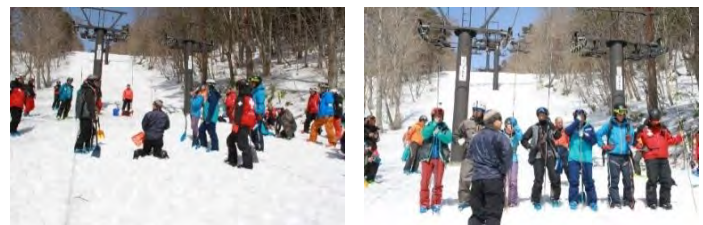
第 2 日目 (3 月 18 日 (日))

朝のつどい 07:00~07:30



実技研修 3 (雪上) 09:00~12:00

実技研修 3 では、雪崩捜索救助の基礎実習について、出川あずさ氏 (JAN 理事・JMGA ガイド養成指導者)、五月女行徳氏 (JAN 理事長・JMGA スキーガイド) を講師として、雪崩チームレスキューの実際について学ぶことができた。



閉会式・解散 13:00~



写真は全日本スキー連盟安全対策部 (<http://snowsafety.info/>) より引用

我等の仲間

北海道虻田郡留寿都村
加森観光株式会社
ルスツリゾートスキー場

スキーパトロール隊
隊長 林 将且



当スキー場は、昭和 57 年 11 月に加森観光株式会社が、ルスツ高原スキー場として運営を開始し、平成元年の 11 月に現在のルスツリゾートスキー場となりました。

平成元年 12 月にはスティームボートエリアがオープンし、平成 7 年 12 月にはヘブリーエリアがオープン。現在ではウエスト Mt.・イースト Mt.・Mt. イゾラの三つの山に、全 37 コース、総滑走距離 42 km、ゴンドラ 4 基・クワッドリフト 7 基・ペアリフト 7 基と、北海道 No. 1 の大規模スキー場です。

ルスツリゾートスキー場の特徴としては、コース幅が全体的に広く、圧雪の行き届いた一枚バーンを気持ちよく滑走できるコース、降雪があった日にはパウダーにもなるテクニカルな未圧雪コースや、初心者にもやさしい初級コースなど、魅力のあるゲレンデが広がっております。また、各山頂からのロケーションも最高ですので、ぜひルスツの思い出の一つとして記念写真を撮っていただきます！

ウエスト Mt. はリフトアクセスも良く、コースバリエーションも豊富なので、これまでも多くの大会が行われており、第 54 回・第 55 回と、全日本スキー技術選手権大会も開催され、大変な盛り上がりを見せました。

我々スキーパトロール隊は総勢 18 名、ウエスト Mt.・イースト Mt.・Mt. イゾラと各エリアへ配置され、日々コースの安全確認・対策を行っております。ですが、日々の滑走者も多く、パウダーを求めてコース外へ出るスキーヤー・スノーボーダーも増加しているので、残念ながら怪我をされる方も少なくありません。今現在 10 名の公認パトロール有資格者がおり、有資格者以外の隊員でも日々救護方法の確認や、ボート搬送技術の向上に努め、事故などへの救護体制を整えております。

本年度は降雪が多く、業務中以外のプライベートでも滑走に費やす時間が多い私や、他のパトロール隊員にとっては、シーズンを通してパウダーを楽しめるとても良いシーズンでした。我々ルスツのパトロール隊は滑走時における業務上の利便性、プライベートでの快適・爽快性(主に後者が理由?)を求めてファットスキーを扱う者が多く、スキー板とスタイルへのこだわりを持った人達の集まりです。

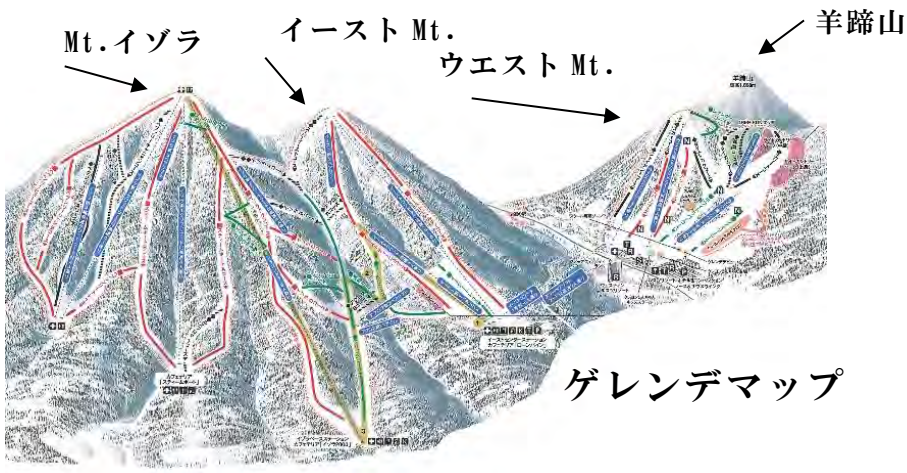
仕事は真面目！プライベートは存分に楽しむ！そんな我々パトロール隊に興味のある方、興味が湧いた方(英語・中国語など語学堪能な方は大歓迎!!)は、ぜひルスツリゾートへ御連絡ください。個性豊かなパトロール隊の面々がお待ちしております。

ルスツリゾートは冬期のスキー場だけでなく、夏期は自然の中で遊べる遊園地・ゴルフ・様々な種類のアクティビティなど、子供から大人まで 1 年を通して楽しめる魅力が満載です。ぜひ、皆様ルスツリゾートへ足をお運びください。

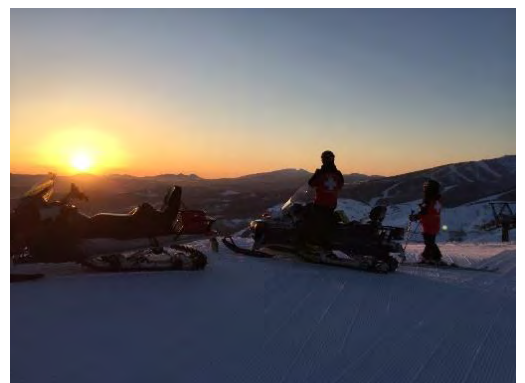
ルスツリゾートスキー場スキーパトロール隊



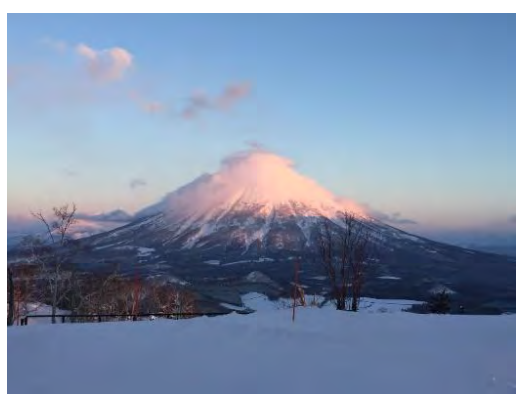
撮影時不在メンバー
 小原 勝秀 林 正則
 木谷 一也 押切 耕太
 石崎 翔太 小谷 裕宇



ルスツ遊園地（正面の山がイースト MT.と Mt.イゾラ）



ウェスト Mt.山頂の早朝



羊蹄山の眺め

SAJ スキーパトロール研修会(西日本会場)

第41期 福岡優子

平成30年3月3日、4日に福井県九頭竜スキー場で開催された研修会について報告します。

全日本スキー連盟(SAJ)から専務理事矢船保夫氏を迎え、東は山梨から西は岡山まで、総勢55名のパトロールが参加しました。

60歳以上の参加者が4分の1を占め、20歳代、30歳代がわずか2名と参加者のほとんどが40歳以上で、スキーヤーの高齢化をそのまま表しているようでした。

矢船専務理事のあいさつでは、スキー人口の減少について、どのように歯止めをかけるかが課題としてとりあげられた他、オリンピックを始めとする国際大会への競技者派遣事業の現状についてSAJの財政を含めて話されました。

雪上実技研修の中心は、崖や立入禁止区域など転落者救助訓練でした。エイト環やカラビナを利用し、小さな力と少人数で効率よく転落者を救助する方法を実践しました。アンカーと引っ張るロープとの角度により重さに違いが生じることを、物理の計算で導きながら、参加者同士で「高校生のときに、もっとしっかり勉強しておけば良かった!」、「〇〇さん、工学部の出身だよね。ここは、任せるよ。」など、グループごとに様々な声が上がっていました。雪上では、使える道具に制限があったり、アンカーを打つ場所に十分な広さや強度がなかったりと、その場で与えられた条件をいかに使うかが問われました。

また室内研修では、バックボード固定を行いました。新しい装備が十分にそろっているスキー場もあれば、そうでないスキー場もありますが、ここでも少人数で、効率の良い救助を行うためには、どのような道具が必要かを知る機会となりました。

今回は広間での宿泊でしたが、修学旅行以来という人が多くいました。トイレなどでは不便がある反面、参加者と話す機会が増え、参加者同士の交流を深めることができ、良い刺激となったという感想を耳にすることができました。最近では、中学校や高校の修学旅行でもビジネスホテルを利用する時代です。広間での枕投げさえ経験のない若者が増えている中、40歳超えの参加者にとっては、懐かしさもあつたようです。

わたしは、愛知県に所属しています。数年前から県連主催の研修会に参加することが多かったのですが、今年は、東海北陸ブロックでSAJの研修会が行われることになったので、県連主催をとりやめ、西日本会場への参加を呼びかけました。久しぶりにSAJ主催の研修会に参加したところ、現役時代に一緒に活動していた仲間と再会できたり、新たに他県の仲間と親しくなることができたりした結果、愛知県としての活動をより良くするヒントとなることを多く収穫することができました。ご尽力いただいた技術員のみなさま、現地総務の前田さん(福井県)に感謝いたします。

写真で見る研修会



SAJ 専務理事 あいさつ



バックボード固定



転落者引き上げ訓練



懇親会



JSPA 総会案内

第47回

日本スキーパトロール協議会総会

岩手県

「平泉の文化遺産」を生んだ奥州の歴史を巡る旅!!

奥州市衣川は、2011年に世界文化遺産に登録され、奥州藤原氏（出羽を含む東北地方一帯に勢力を張った豪族）の本拠地平泉に近接し、東北地方の歴史と文化の象徴として名高いところです。

総会日程

9月1日(土)10時	～	理事会
13時	～	受付
13時30分	～	地区幹事会
15時	～	総会
16時	～	講演(歴史講談)
18時	～	懇親会(岩崎鬼剣舞)
20時	～	2次会

☆講演(歴史講談)☆

◎【内容】奥州市衣川に伝わる歴史

世界文化遺産観光

観光日程

9月2日(日)7時	～	朝食
9時	～	バスで移動し ～中尊寺(金色堂) 徒歩～毛越寺へ
見学後バスで衣川荘に戻り昼食		

★「平泉」と言えば「世界文化遺産」です



地酒持参大歓迎、ネームプレートを忘れずに!!

◎会場 岩手県奥州市衣川区日向 60-2

【国民宿舎サンホテル衣川荘】TEL 0197-52-3311

◎会費 1泊2食付 16,000円(懇親会2次会込)+観光料金 3,000円

※平泉「世界遺産」観光(ガイド・拝観料・昼食付) 合計 19,000円

※夫婦で一部屋利用は一部屋プラス 2,000円

※小学生 8,000円、未就学児 3,000円

※前泊は1泊2食付 12,000円(大人)、小学生 8,000円、未就学児 3,000円

【観光は班別移動】

衣川荘から9時にバスで中尊寺に移動し見学、その後徒歩により毛越寺まで移動し見学します。12時頃に衣川荘に戻り、昼食休憩し解散します。

申込金は、同封の郵便振替用紙でお願いします。

申し込みは、8月15日必着でお願いします。

●アクセス

*東北自動車道「平泉前沢」ICより一般道で約5分

*東北新幹線・「一ノ関駅」下車し乗り換えて、東北本線「平泉駅」下車タクシーで10分

*空路は「いわて花巻空港」シャトルバスでJR「花巻空港駅」～「平泉駅」下車タクシーで10分

新終身会員の紹介

2017年07月14日から2018年04月30日
までに登録された方です。

(敬称略、順不同)

北海道スキー連盟

24期 秋元 洋一
30期 奥島 玲子
33期 佐々木 靖幸

秋田県スキー連盟

30期 大山 忠一
34期 斉藤 勝美
49期 菅原 卯平

青森県スキー連盟

22期 高木 清美
25期 桜庭 克廣
32期 白取 裕士
33期 大久 嘉範
35期 萩野 幸江

石川県スキー連盟

25期 中田 啓治

長野県スキー連盟

10期 有賀 寛治
20期 上村 忠男
20期 西澤 宗男
34期 伊藤 正人

福井県スキー連盟

54期 大久保 雅章
ドクターパトロール
113期 新家 信行

静岡県スキー連盟

ドクターパトロール
119期 川田 利昭

岩手県スキー連盟

21期 佐々木 忠夫
24期 遠藤 正
24期 西館 忍

宮城県スキー連盟

30期 千葉 栄一郎
54期 笹舘 公男

福島県スキー連盟

ドクターパトロール
117期 齋藤 雅文

茨城県スキー連盟

24期 富樫 泰一
ドクターパトロール
116期 宮川 俊平

埼玉県スキー連盟

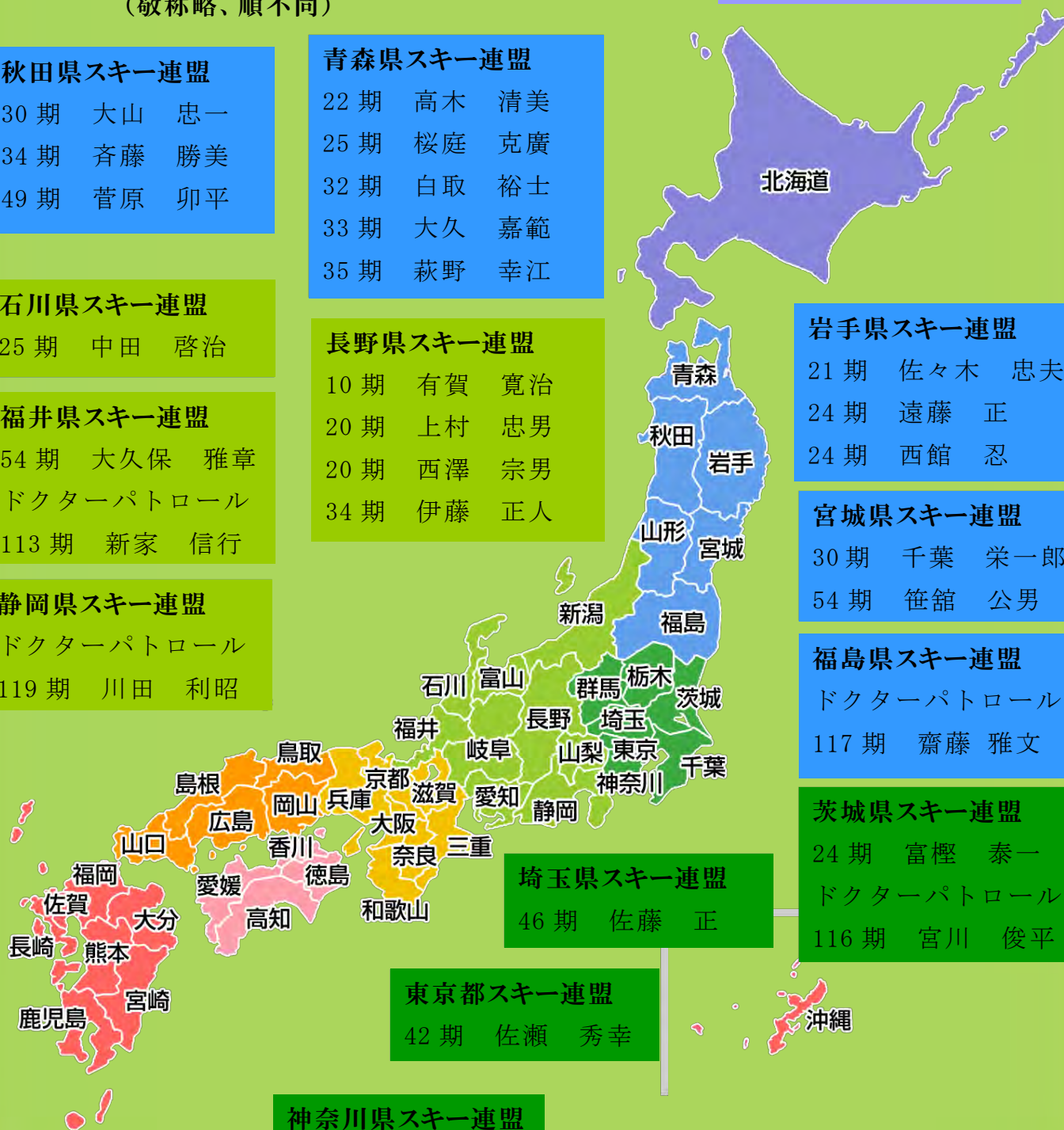
46期 佐藤 正

東京都スキー連盟

42期 佐瀬 秀幸

神奈川県スキー連盟

24期 大窪 良久
49期 佐俣 卓生





寄付金の受領

2017年08月27日から2018年04月30日までに寄付金をお納めくださった方々です。今後のJSPA活動に有効活用させていただきます。ありがとうございました。

2017年12月27日
福井県29期 谷口 誠一 様(終身会員)
2018年01月04日
宮城県12期 奥田 惇二 様(終身会員)
2018年01月10日
青森県22期 高木 清美 様(終身会員)
2018年01月22日
青森県18期 高橋 勝廣 様(終身会員)
2018年02月16日
岩手県24期 本宮 秀孝 様(終身会員)
2018年02月26日
東京都12期 鶴巻 等 様(終身会員)
2018年04月24日
福井県23期 扇浦 行弘 様(終身会員)

「我等の仲間」原稿募集

パトロールニュースで「我等の仲間」の原稿を書いてみませんか！
内容はスキー場の宣伝、パトロール隊の紹介、雪なし県での活動紹介等、自由です。
下記広報担当富樫美昭のメールアドレスに連絡をお願いいたします。

富樫美昭メールアドレス
togashiyoshiaki@jcom.home.ne.jp

訃報

山本 一雄さん(長野県1期 80歳)
JSPA 顧問(元会長)

2018年2月27日に、ご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

訃報

斎藤 憲司さん(静岡県26期 64歳)

2018年3月24日に、ご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

パトロールニュースが再発送された方、住所変更予定の方へ！

郵便局に転居転送届の提出と共に JSPA 事務局に住所変更の連絡をお願いいたします。

当協議会では、会報等発送費削減のため、ヤマトメール便を利用しています。住所変更し、事務局に連絡がない場合、ヤマトメール便では宛先不明で返却されます。郵便にて再送するため、経費がかさんでしまいます。住所変更の際は忘れずに JSPA 事務局長 保坂淳司にメール・FAX・電話のいずれかで連絡をお願いいたします。



最初はヤマトメール便
(82円)



再発送は郵便
(140円)
合計 222円

